

長期ステロイド使用後の顔・手・腕の再燃を経て治療を続けた成人アトピーの経過 (45 歳 女性)

症例 ID：001-40-SH2 | 記録日：2016 年 5 月 3 日

1. 診断・治療前経過

幼少期に小児喘息があり、高校生頃から手湿疹がみられました。社会人以降は外用薬の使用が増え、23 歳頃には手にデルモベート、顔にもステロイド外用薬を使用し、内服薬も服用しました。

23 歳頃に民間療法でステロイドを中止し、手の著しい腫れ、出血、顔・首・腕の浸出性症状を経験しました。数年間落ち着いた後、2013 年 9 月に顔、首、腕、手、手掌、足底へ強い症状が再燃しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	手にデルモベートを使用し、顔にもステロイド外用薬を使用しました。内服薬の使用歴もあります。
製品名	デルモベート。その他は不明です。
強度	最も強いランクの外用薬を含みます。
使用期間	高校生頃から 23 歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	23 歳頃です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
23 歳頃	初回中止	ステロイドを中止し、手、腕、顔、首の腫れと浸出液が強くなり、約 2 か月休職しました。
その後数年	安定期	目立つ湿疹がない時期が続きました。
2013 年 9 月	再燃	顔と首が赤く腫れ、腕と手も腫れ、手掌と足底に水疱が集簇しました。
2013 年 11 月頃	治療開始	煎じ薬による治療を開始しました。
2014 年 夏	変化	半袖で外出でき、手の甲の乾燥と色素変化が残る程度となりました。
2014 年 10 月～2015 年	症状の波	手と腕の再燃と軽減を繰り返し、ヘルペス症状で眠れない日もありました。
2016 年 5 月	記録時点	手と腕、時折顔に症状が残り、治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、2013 年 9 月に顔と首が著しく赤く腫れ、腕と手の腫れ、手掌と足底の水疱が重なり、家庭生活が難しくなった時期です。

5. 困りごと

- ・幼児の育児中に家事ができず、実家の支援が必要でした。
- ・顔面と手腕の症状により、人前に出ることが難しい時期がありました。
- ・手と腕の症状が長く残り、ヘルペス症状で眠れない日もありました。

6. 経過のまとめ

治療経過中に手と腕の症状は一進一退を繰り返しましたが、半袖で外出できる時期がみられ、手の甲の色素変化も徐々に薄くなりました。通院経過の中で、日常生活への負担が軽減された症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。